

保育所等訪問支援 夢門塾 自己評価表

○本評価表は、保育所等訪問支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。
 「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

事業所名 保育所等訪問支援：夢門塾 相生

公表日

2026年 1月

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	改善が必要だと思われる点
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教員教材は適切であるか。	2	0	絵カードや意思表示カード等児童に合わせて用意している。	今後、必要に応じて購入や作成を行ってまいります。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	1	同じ園でのご利用者様が複数いる場合に、日時を調整してしっかりと支援ができるよう工夫している。	複数名の場合、何度も時間を確保いただくことになるため、可能な限り同日に時間調整を行い対応できるよう努めてまいります。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	0	毎月職員会を行っている。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0	保護者様評価を活用し、保護者様の意見を把握したり、改善点の確認したりし、チームで改善できるよう実行している。	
	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0	職員会やカンファレンス等で把握し、改善できるよう実行している。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	0	訪問先施設評価を活用し、訪問先の意見を把握したり、改善点の確認したりし、チームで改善できるよう実行している。	
適切な支援の提供	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	0	毎月社内研修があり全員が学べる機会がある事業所内でも支援の方針や対応について会議を行い、情報共有して理解を深められるよう努めている。	
	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2	0	毎回のフィードバックや、モニタリングの際に保護者様のニーズを聞き個別支援計画を立てるように進めている。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	0	普段から情報共有を行い、全職員が共通理解できるよう努めている。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2	0	訪問時や訪問後のフィードバックにて担当者や情報共有を行い、意向が盛り込めるよう努めている。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0	定期的に計画を確認し、共通した支援ができるよう努めている。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	0	記録の確認や、職員間で情報共有を行っている。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2	0	具体的に設定できるよう努めている。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0	定期的に計画を確認し、共通した支援ができるよう努めている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	0	訪問前に確認を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	0	話し合いの時間を設けている。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2	0	訪問先の理念や支援手法を尊重した上で支援方法が提案できるよう努めている。	
	18	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2	0	誰が読んでも分かりやすいような記録をとることで振り返りができるようにしている。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	0	期間を区切ってモニタリングを行い、保護者様の相談も含め計画を立て、必要に応じて短期間での見直しも行うこともある。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	0	管理者・児発管が参加するようにしている。	
	21	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	0	必要に応じて連携できるようにしている。	
	22	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	0	情報共有できる機会を設けている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	0	相談支援事業所から助言をもらうことがある。	
	24	(自立支援)協議会 とも部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	0	参加している。	
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2	0	児童発達支援利用時のフィードバックでも話す機会を設けたり、必要に応じて別途話ができる時間を設けるようにしている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	0	保育所等訪問支援としては開催していないが、児童発達支援としては保護者会等を開催し、参加いただいている。	
27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	0	契約時に丁寧な説明を行っている。		
28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2	0	初回訪問時に丁寧に説明を行っている。		
29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	0	モニタリングを行い、丁寧に意思や意向を確認している。		

保護者等への説明等	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2	0	丁寧に説明を行い同意を得ている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	0	定期的にモニタリングを行い聞き取りをしたり、普段のフィードバック時に話をしたり、必要に応じて話をする時間を設けるようにしている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	0	保育所等訪問支援としては開催していないが、児童発達支援としては保護者会等を開催し、参加いただいている。	
	33	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	0	申し入れがあれば迅速に時間を設けて対応している。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2	0	児童発達支援から定期的に情報発信を行っている。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0	個人情報の取り扱いについては、契約時に確認をとり、それに沿い十分に注意を払っている。	
訪問先施設への説明等	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	0	視覚支援を取り入れたり、個々の状況に合わせてフィードバックの部屋を分けるなど配慮している。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2	0	都度相談に応じている。	訪問回数が少ない場合、情報共有が中心となりやすいため、実施の有無にかかわらず、様々な支援方法について提案できるよう努めてまいります。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2	0	都度行っている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2	0	都度フィードバックを行っている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0	丁寧に説明をし、十分留意している。	
非常時等の対応	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2	0	相談に応じ、助言を行うよう努めているが、すでに実行された支援であることがある。	ツールを増やし、相談に対応できるよう努めてまいります。
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	0	訓練は児童発達支援で行っている。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	0	安全管理は十分行った上で支援をしている。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	0	共有し再発防止に努めている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	0	全職員研修を受けている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	0	現在身体拘束が必要な児童はいないが、必要であれば保護者に十分説明・了承を得て行っている。	
保護者様評価、自己評価についてまとめ						
保護者様・訪問先施設様と情報共有をしながら、個々に合った支援ができるよう、支援に対する知識や・技術の向上を図ってまいります。						